

新製品：ブルー発光蓄光シート

2014年10月17日
エルティーアイ株式会社

【規格】

《サイズ》1,000 mm幅 《輝度(20分後)》 110mcd/m² ~JIS規格 JCクラス対応~

【開発の経緯】

昨今、屋外用の標識や看板用途でブルー発光製品のご要望を多く頂く事が増えて参りましたため、この度「ブルー発光蓄光シート」の販売を開始いたします。

【ブルー発光とグリーン発光】

グリーン発光とブルー発光の蓄光製品についてよく比較されることがあります。

「ブルーの方が耐水性に優れている?」「グリーンは残光時間が短い?」などのご質問を頂戴することがありますので、この二点について以下にまとめました。

① ブルー発光製品とグリーン発光製品の耐水性について

蓄光顔料(製品になる前のセラミック状のもの)そのものの耐水性は、一般的にグリーン発光の顔料とブルー発光の顔料を比較した場合、ブルー発光の顔料の方が耐水性に優れていると言われており、蓄光顔料をそのまま水に浸けて比較した資料をよく見かけます。しかしながら、実際には、加工して完成した製品の耐水性を比較する必要があります。製品にするためには、基本的に蓄光顔料を樹脂など様々な素材と混ぜて加工しなければなりません。つまり、完成した製品がどれ程水の影響を受けるかを確認する必要があるということになります。これは、製品によって様々です。一概には何とも言えませんが、完成品が水を吸い込まない素材で加工した製品であれば、ほとんど水に影響されることはないということになります。

② 初期輝度と残光時間について

一般的には、「初期輝度が高いのはグリーン発光」「残光時間が長いのはブルー発光」と言われております。ただしこれは、両者同じグレードの顔料を比較した場合です。

蓄光顔料には、大きさや発光能力などに様々なグレードがあります。ブルーでも比較的初期輝度が高い顔料、グリーンでも残光能力の高い顔料が存在する上に、製品化した後にどれだけの発光能力があるかは加工方法、蓄光材の含有量や比率によって様々です。

例えばですが、グリーン発光の弊社S級消防認定品「SSNシリーズ」などは、一般的な照射条件(D65 蛍光灯 200ルクス 20分照射)の場合、光源を遮断してから30時間を上回る残光能力があります。ただし、視認可能か否かについては、製品が設置される現場の環境により異なります。

詳しくは、弊社営業担当までお問い合わせください。

エルティーアイ株式会社 京都本社：075-882-1515
東京営業所：03-3562-9595